



一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

会報

Okayama association of
Medical Technologists

2015. 7月号
Vol.499

発行責任者

ホームページ: <http://okaringi.or.jp>
一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

編集責任者

前田敦子
倉敷中央病院 臨床検査技術部
TEL: 086-422-0210 (内 3726)
FAX: 086-421-3424
E-mail: a_maeda@kchnet.or.jp

◆これからの岡山県臨床検査技師会の予定

月	日(曜)	講演会・行事など
7月	4(土)	臨床血液部門講演会 岡山シスメックスセミナー 2015 「血液凝固検査と抗血栓療法」 会 場: 岡山コンベンションセンター 2Fレセプションホール
8月	28(金)	津山地区講演会「心電図 症例を中心に」 会 場: 津山中央病院 研修センター 研修室
9月	5(土)	生物化学分析部門講習会「[共用基準範囲]を知る!」 会 場: 川崎医療短期大学 200番講義室

※関連学会・団体行事、後援行事などは、本会報の別ページおよびホームページにも掲載しています。

講習会など行事予定は携帯電話からもアクセスできます。

<http://www.okaringi.or.jp/yotei/mobile/yoteimobile.htm>



◆平成27年度 第1回定期総会・特別講演会が開催されました

[平成27年度第1回定期総会を終えて]

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 会長 岡本 由美

6月7日に一般社団法人に移行して初めての決算総会を行いました。

平成26年度事業報告としましては、同年度に大きく動き出した日臨技の動向に協力し、その意向が県内の会員のみならず浸透するように努めました。「検査相談・説明ができる検査技師育成」また、法改正による「検体採取等に関する指定講習」などがその大きな動きとなっています。今この動き出した時にこそ全臨床検査技師が一丸となって、結束力と使命感を持って活動していかなければ、次の要望は通らない事を会員の皆様と考えていただきたいと切に願っております。この動向に対して、関係諸団体の注目度は私たちの想像以上のものがあります。個々のためだけでなく臨床検査技師全体の地位向上に関与している事を会員の皆様お一人お一人が受け止めていただきたい、と重ねてお願いする次第です。また、決算会計報告では、一般会計報告に加え、一般社団法人となった事で、これまで優遇されていた非課税での財産を今後公益事業に対して計画的に支出していく「公益財産目的支出計画実施」の決算も報告させていただき、承認をいただきました。会員の皆様方のご意見やご要望を取り入れながら、会員の皆様方のためになる会を目指していきますので今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

[特別講演を終えて]

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 副会長 木村 泰治

特別講演は湯郷ベル前監督の種田佳織さんに「近年におけるチームマネジメントについて」と題してお話頂きました。女性マネージャーとして、女性チームをまとめる方法やコツ、心がけていたこと、失敗から学んだ事などをサッカーに例えながら大変分かりやすく教えて頂きました。キーワードとして「協力」「役割分担」「多様性」「For the team」を挙げられ、チームとして協力すること、それぞれに与えられた役割を十分果たすこと、そして先を読み、時代に併せて変わっていくことなどを話されました。

チーム医療の一員である私たちは「For the patients」「For the team」のもと、各職種の方々と協力、連携する事の重要性は今さら言うまでもありません。一方、各施





設での臨床検査技師に期待する役割は変化してきており、従来からの検査業務だけを行うのではなく、臨床ニーズを捉え、変化に対応することが今後求められています。検査説明や検体採取などがまさにその一例です。

臨床検査技師の明るい未来を実現するために、今何をしなければならないのか、これから何をしていかなければならないのか、考えなおすきっかけとなる有意義な講演会でした。

◆各種表彰

○永年会員30年表彰

高津 昌吾, 坂籾 由佳, 江尻 守, 有江 潤子, 清水 雅代,
神崎 美佐, 山西 多恵, 正木 修一, 川邊 一徳, 内藤 佳子,
小林 直子, 小林 江利, 福井 典子, 井上 伸一, 平石 操,
小嶋 隆子, 江森 陵仁, 大森かすみ, 信木 重人, 松本 明美,
小銭美和子, 有安 早苗, 大賀 尚美, 横田 祐子, 高橋 和枝,
桑原 寿恵, 山下 都, 元井 一生, 直原 勝則, 野口真智子,
北川 和成, 門田 渉 (敬称略, 順不同)



○学術業績者表彰

医学検査 Vol. 63 No.1

「多剤耐性緑膿菌感染症治療のために実施したBCプレートでの抗菌薬併用効果と治療効果の検討」

津山中央病院 村瀬 智子 技師

推薦理由: 本論文は、多剤耐性緑膿菌 (MDRP) に対する抗菌薬併用効果の臨床研究を調査した報告である。著者の村瀬らはBCプレートの抗菌薬併用効果 (in vitro) の結果から臨床への応用として患者背景と治療、予後の調査結果を記述している。BCプレート「栄研」の抗菌薬併用効果の結果から実際、患者予後に対しての貢献がどうであったか、臨床応用状況にまで発展させており、この結果は貴重であり学術業績者として推薦する次第である。

○優秀論文賞表彰

岡山医学検査Vol.51 No.2

「測定原理の異なる3種の血中インスリン測定試薬の比較検討」

倉敷中央病院 中原 由紀恵 技師

推薦理由: 免疫学的測定法において交差反応性試験は確認すべき重要な情報である。中原らはインスリン測定試薬3種を比較し、基礎的検討だけでなくインスリンアナログ製剤の反応性についても詳しく検討している。今後、新たなインスリンアナログ製剤が開発・販売されていく中、新規採用または現在使用中のインスリン測定試薬が交差反応性試験の重要性を示す有意義な検討であり、ここに推薦する。

○優秀発表賞表彰

第63回日本医学検査学会

「ルミパルスPresto II を用いた第4世代HIV Ag/Ab改良試薬の感度・特異性検証」

岡山大学病院 大久保 進之介 技師

推薦理由: HIVスクリーニング検査は、HIV-1p24抗原を同時に検出する第4世代試薬が開発されウインドウ・ペリオドが短縮された。一方で、偽陽性率の増加も問題となっている。本発表は、第4世代試薬になり偽陽性の出現率が上昇した試薬とその改良試薬を単独感作粒子に対する反応性、吸収剤の添加、他法での確認、ウエスタンブロットによる確認、パネルによる感度試験など様々な方法で詳しく比較している。ここまで詳しい検証は少なく今後の模範となる発表を考え、推薦する。

◆平成27年度岡山県臨床検査精度管理調査のお知らせ

右記の日程にて、本年度の精度管理調査を実施いたします。

多数施設のご参加、よろしくお願いいたします。

詳細は、後日送付の案内をご確認ください。

※参加申し込み、結果入力とも日臨技のHPから行ってください。

参加申込締切:平成27年7月16日(木) 18:00

試料送付:平成27年8月18日(火)

結果締切:平成27年9月1日(火) 18:00

調査結果速報会:平成27年10月18日(日)

臨床血液部門講演会 岡山シスメックスセミナー 2015

日時	平成27年7月4日(土) 14:00~19:10
場所	岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール
内容	「CSシリーズを用いた血小板凝集能測定のご紹介」 シスメックス株式会社 広島支店 学術サポート課 梶原 宣子 先生 「日常診療における当院での抗凝固療法～ワーファリンからNOACの時代へ～」 倉敷中央病院 循環器内科医長 田坂 浩嗣 先生 「血液凝固検査と校血栓両方」 金沢大学附属病院 病院臨床教授 朝倉 英策 先生

生涯教育点数	専門-20点
参加費	500円
問合せ先	金田病院 見村 典子 TEL: 0867-52-1191 E-mail: KENSA_KH@yahoo.co.jp

☆講演会のポイント: シスメックス株式会社との共催で、岡山シスメックスセミナー 2015を開催します。今回は凝固系検査について、検査から臨床・治療方法へと幅広い視点から先生方に御講演いただきます。多数の参加をお待ちしています。

※詳細事項は6月号同封の別紙案内、岡臨技HPでご確認下さい。

津山地区講演会

日時	平成27年8月28日(金) 19:00~20:30
場所	津山中央病院 研修センター 研修室
内容	「心電図 症例を中心に」 岡山赤十字病院 谷口 裕一 先生
生涯教育点数	専門-20点
参加費	500円
問合せ先	さとう記念病院 検査部 長瀬 由紀子 TEL: 0868-38-6688 E-mail: nagase@satoukinen.or.jp

☆講演会のポイント: 昨年夏に企画しました「医師に報告すべき心電図」の第2段です。今回は症例を中心にご講演をしていただきます。心電図を読む上でのポイントや、医師への報告の仕方など日常業務に役立つ内容となっております。多くの参加をお待ちしています。

生物化学分析部門講演会

日時	平成27年9月5日(土) 14:30~16:40
場所	川崎医療短期大学 200番大講義室
内容	「共用基準範囲」を知る! 天理医療大学 臨床検査学科 特任講師 山本 慶和 先生
生涯教育点数	専門-20点
参加費	500円
問合せ先	倉敷成人病センター 佐藤 達郎 TEL: 086-422-2111(内線7200) E-mail: t_satou@fkmc.or.jp

☆講演会のポイント: 平成23年、日本臨床検査医学会、日本臨床化学会、日本臨床衛生検査技師会、日本検査血液学会の各団体から成る合同基準範囲共有化ワーキンググループが結成され、生化学的血液検査を中心として健常人を対象とする膨大な検査データが集積されました。これを基に共用可能な基準範囲の設定とその利用・普及を目的として、日本臨床検査標準協議会(JCCLS)内に基準範囲共用化委員会が設立されました。その活動の成果として、40余項目から成る共用基準範囲一覧が作成され、パブリックコメントを踏まえて若干の修正を経た後、「日本における主要な臨床検査項目の共用基準範囲案」として平成26年3月末に公開されるに至りました。

この新しい共用基準範囲案が公開されてから1年余りが経過しましたが、現在各県単位で共用基準範囲案を導入する動きがみられています。岡山県精度管理実行委員会におきましても本案について協議し、共用基準範囲案を導入する方針について全委員の先生の合意を得ました。この講演会では当初からワーキンググループの中心的人物である山本慶和先生に、共用基準範囲設定における方法論、算出法など苦労話も交えて解説していただく予定です。

※伝達事項: 有料駐車場あり

生理機能部門講演会

日時 平成27年10月3日(土) 13:00~17:00

場所 岡山大学医学部保健学科棟 301講義室

内容 「ステップアップ 心電図Ⅱ」
「心不全について」

岡山大学医歯薬学総合研究科循環器内科学 准教授 中村 一文 先生
「デバイス治療について」

岡山大学医歯薬学総合研究科循環器内科学 講師 西井 伸洋 先生
「12誘導心電図を診る！ー心臓電気生理学的検査からのフィードバックー」

三重ハートセンター 技師長 内田 文也 先生

「演題未定」 日本メドトロニック株式会社 講師未定

生涯教育点数 専門ー20点 **参加費** 1000円

問合せ先 岡山大学病院 医療技術部 渡辺 修久(東影 明人)
TEL: 086-223-7151

E-mail: watan-n@cc.okayama-u.ac.jp (higas-a@cc.okayama-u.ac.jp)

☆講演会のポイント:今年度の生理機能部門講演会は、岡山大学病院循環器内科の中村一文先生と西井伸洋先生をお招きし、心不全およびデバイスについて、また、認定心電技師として三重ハートセンターの内田文也技師長をお招きし、電気生理学的検査と心電図をつなげようと題してご講演していただきます。詳細(申込み等)は、別刷の案内状をご覧ください。

※伝達事項:心電学会および日臨技どちらの認定心電検査技師の認定資格更新指定の講習会として開催します。なお、会場1階入り口は、講演会開始後には施錠されますので時間に余裕をもってお越しください。

同好会のご案内

微生物同好会《CLUB細菌》

日時 平成27年8月27日(木) 19:00~

場所 岡山済生会総合病院 健診センター

内容 「日臨技精度管理」

問合せ先 岡山協立病院 臨床検査科 入江 由美

TEL: 086-271-0941 (直通) E-mail: yirie@okayama-health.coop

関連団体からのお知らせ

第12回岡山臨床睡眠研究会

日時 平成27年7月23日(木) 19:30~21:00

場所 岡山コンベンションセンター 2Fレセプションホール

内容 特別講演、一般演題 他 **生涯教育点数** 専門ー10点(自己申告)

※詳細は、6月号同封の別紙案内、岡臨技ホームページでご確認下さい。

総務部からの お知らせ

生涯教育点数申請(自己申告)方法について

後援事業(講演会など)へ参加した際の、生涯教育点数申請(自己申告)につきましては、以下の手順にて手続きをお願いします。

1. 日臨技ホームページより、申請用紙をダウンロードします。
(トップページ右端のタブ「入会・退会・会員情報の変更」から最下段「他学会・他団体用(様式1-2)」)
2. 必要事項を記入します。
3. 出席を証明するもの(コピー可)とともに、岡臨技事務所へ送付してください。

※関連団体後援事業に対する点数の付記は10点です。自己申告申請は、所属技師会にて登録します。

【会員のページへのアクセス方法】 ユーザー名: okayama パスワード: sinpo658 でログインしてください。

◇岡山県の会員動向◇

会員数: 1,309 (4月1,270)
平成27年5月末現在

「会員だより」「お知らせ」などの問合せ先

倉敷中央病院 臨床検査技術部: 前田 敦子まで
TEL: 086-422-0210(内3726) E-mail: a_maeda@kchnet.or.jp